

## 佐賀県立高等学校再編整備第二次実施計画の概要

### 1 太良高等学校の改編

現在の太良高等学校の2学級については、平成23年度に西部学区の定員としては1学級を減じます。その上で、新たな教育課題に対応するため、地元からの提案も踏まえ、全日制高等学校で学ぶ意欲のある、不登校経験や発達障害のある生徒、高等学校中途退学者などを全県から募集することとし、新たに40人程度の定員を設けます。

これにより、これまでの太良高等学校が果たしてきた役割を引き継ぐとともに、多様な生徒が共に学び成長し、地域も生徒の教育を支援する学校に改編します。

改編後の太良高等学校は、

- ・ 柔軟なカリキュラムで、進路希望や興味・関心、自分のペースに応じて自ら学習計画を立てる学校
- ・ 得意分野を伸ばしたい、基礎基本を学びたい、学校外での社会体験活動を行いたいといった一人一人の学習ニーズに応じた授業展開を行う学校とするなど、新しいタイプの県立高等学校のモデル校とします。

#### 〔改編計画〕

実施時期	平成23年4月
募集定員	4月入学 80人 ・ 一般募集 西部学区40人 ・ 特別募集 <sub>(注)</sub> 全県40人 10月入学 若干名 ・ 特別募集 <sub>(注)</sub> 若干名 将来的には、1学年120人程度の募集を目指します。
(注) 特別募集の対象者 ・ 中学校において不登校等で能力・適性を十分に生かし切れなかった生徒 ・ 発達障害の特性に応じて自分のペースで学習したいと思っている生徒 ・ 高等学校中途退学者でもう一度全日制高等学校で学び直したい者 等	

改編後の太良高等学校は、連携型中高一貫教育の経験を生かして、中学校だけでなく、小学校も含めた連携の充実を図っていきます。

なお、現在の中高一貫連携型選抜は平成22年度入試までとし、連携型中高一貫教育は平成22年度入学生が卒業する平成24年度をもって終了します。

< 具体的な学校像 >

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 普通科単位制、2学期制           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 必履修科目、自由選択科目から自ら時間割を作成</li> <li>➢ 半期認定科目の設定</li> </ul> </li> <li>■ 教育相談の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 校内体制の充実</li> <li>➢ 外部専門家の活用</li> </ul> </li> <li>■ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学校運営へ地元からの参加</li> <li>➢ 学校の教育活動への地元の協力、地域人材の活用</li> </ul> </li> <li>■ 教育の特色           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 少人数指導</li> <li>➢ 多様な選択科目の設置</li> <li>➢ 体験学習の導入</li> <li>➢ 多様な単位認定 資格取得、ボランティア活動・就業体験、高等学校卒業程度認定試験など</li> <li>➢ 職業設計（キャリア・プランニング）の支援の充実</li> <li>➢ 自然体験や社会貢献活動による豊かな人間性の醸成</li> <li>➢ 必要に応じた学習支援ルーム（リソースルーム）の活用</li> <li>➢ 情報通信技術（ICT）の利用</li> </ul> </li> </ul>
---

2 鳥栖地区定時制の再編

鳥栖高等学校定時制（普通科）と鳥栖工業高等学校定時制（機械・電気科）を再編統合し、学校の活性化や指導の充実を図ります。

〔再編計画〕

実施時期	平成23年4月
校地	鳥栖工業高等学校の校地
募集定員	80人 ・普通科 40人 ・機械・電気科 40人
教育の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国語、英語、数学における少人数指導の実施（習熟度別指導、TT授業）</li> <li>■ 普通科、機械・電気科の相互に選択可能な科目の設置</li> </ul>

### 3 再編整備の進め方

再編整備計画毎に、当該高等学校関係者、地域の関係者、県教育委員会などによる委員会を設置し、平成23年度の再編整備に向けた準備を進めていきます。